

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第7回シンポジウム

〈次第〉

1. あいさつ

2. 分科会検討事業テーマについて

(1) 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む分科会」

(a) 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

(b) 都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会

(c) 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

(d) プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

(2) 「未来を創る人材への投資分科会」

(a) 孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会

(3) 「フードロス削減分科会」

3. 埼玉県からのお知らせ



○ 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

<事務局>

埼玉県 県土整備部 河川環境課、環境部 水環境課

<設置目的>

水辺の保全と経済活動の両立のため、企業・団体等の持続可能な官民連携協働スキームの構築を目的とする



<これまでの取組状況>

●令和3年度（水辺の企業マッチング）

- ・生命保険会社がユニバーサルデザインヨットの普及を進めるNPOに対し、車いす利用者のヨット乗降用リフトを寄贈
- ・生涯学習を推進するNPOと釣り餌メーカーが連携して、筏づくりとはじめての川釣りリバービーチキャンパスを開催

●令和4年度（水辺の利活用だけでなく、より環境に配慮した取組も）

- ・生物多様性戦略を踏まえ調節池のOECM位置付けを目指す自然共生サイトの勉強会
- ・横瀬町官民連携PF「よこらボ」と連携し新たな水辺の利活用社会実験に向けた研修会

○ 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会


<令和5年度の実施内容>

- 利活用の視点に新たに水質改善や環境保全を考えるプロジェクトを継続
- プロジェクトチーム
 - ・自然共生サイトP T…調節池のO E C M位置付けを目指しフィールドワークなどを実施
 - ・横瀬川社会実験P T…地域課題を踏まえつつ水辺の新たな利活用を社会実験的に実施
 - ・大相模調節池水環境改善P T…今後利活用が進む調節池の水質改善等実証実験の実施

<特に連携していきたい業種>

学術研究、専門・技術サービス業、飲食サービス業、
教育、学習支援、市町村 等





埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム
「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」分科会

都市公園の持続可能な利活用と 環境保全に関する検討部会について

都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会

【検討部会のテーマ】

県営公園を対象に官民連携により、多角的な利活用による魅力の向上や自然環境・生態系の保全を図ることを目的とする。

【R5年度設置するグループ】

- ・次世代につなぐ大宮公園グループ（R3年度から設置）
- ・熊谷スポーツ文化公園グループ（新規）
- ・こども動物自然公園グループ（新規）

R4年の活動実績(次世代に繋ぐ大宮公園グループ)

【大搔掘まつりの開催】

11月3日(木・祝)、4日に舟遊池にて「大搔掘祭り」を開催。かいぼりに併せて物販・PRブースやキッチンカーなどを出店し、見学客を中心に2日間で約1万人を集客した。

【背景】

大宮公園は、1885(明治18)年の開設の130年を超える歴史ある公園。近年は、悪化した舟遊池の水質改善や池周辺を含めた魅力の創出が課題であった。



平成30年にアオコが大量発生

【目的】

大宮公園の歴史的価値や美しい風景、豊かな自然環境などを次世代に継承するため、舟遊池の水質改善と自然環境の再生・保全を図るとともに新たな賑わい創出に取り組む。

都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会



「大宮公園大掻掘まつり」

ボランティア参加人数 322人 2日間合計延べ



ボランティアと見学者



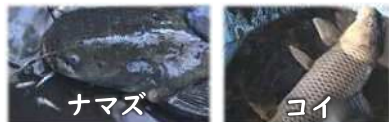
大宮池守の皆さん

(主な在来種)

- モツゴ 数万匹
- スジエビ 数千匹
- ギンブナ 数百匹
- ナマズ 数匹

(主な外来種)

- カダヤシ 数十匹
- アメリカザリガニ 数匹
- コイ(白鳥池に入れたまま) 数匹
- アリゲーターガー1匹 (後日捕獲)



ナマズ

コイ



アリゲーターガー



魚等捕獲の様子



仕分けの様子

舟遊池 水を抜く前(9月)と後(11月)



before



after

ブース出店 23団体 44ブース 2日間合計延べ



賑わうキッチンカー



体験ブース

令和5年度 次世代に繋ぐ大宮公園グループの取組

大宮公園の魅力アップについては、埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの検討部会※において、舟遊池の水質改善や生態系の回復を図るとともに、舟遊池を活用した新たな賑わいづくりを実施することとしている。

令和4年度は住民との協働による「かいぼり」イベント(魚類等の捕獲や浅場づくり)を実施し、令和5年3月25日から池に水を戻し始めている。

令和5年度は、「大宮池守」の水質維持や環境保全活動とあわせて「SDGsイベント」の開催など、環境保全活動と利活用促進との両輪で更に魅力を創造し周知していく。

※埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 『都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会』

池守による継続的な水辺再生・環境保全活動等



モニタリング調査



アメリカザリガニ除去



環境保全活動



普及啓発活動



浅場の維持管理



浅場の維持管理

新たな賑わいづくりとSDGsイベントの開催



- 魚戻しイベント
- ボート事業復活に向けたプロモーション展開
 - ・舟遊池で「水辺で乾杯」-ミズバリングとコラボ-
 - ・舟遊池今昔物語(写真展)
- ボート復活イベント



※イメージ

貸しボート事業♡



- ボートを活用した出会いサポートイベント
～ボートdeデート～
- 「避難時に役立つ防災キャンプ」イベント



※イメージ

防災キャンプ



- 「自然観察会」イベント
- 自然再生・生物多様性ワークショップ

年間スケジュール

春

夏

秋

冬

新たな賑わいづくりとSDGsイベント内容

7/7 水辺で乾杯

9月 防災キャンプ

「自然観察会」

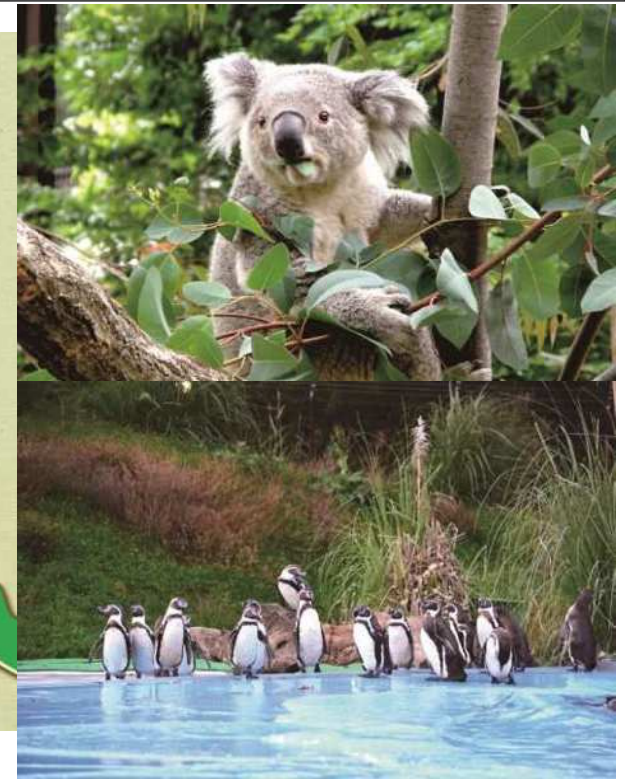
自然再生等ワークショップ

12月 ボートを活用した出会いサポートイベント

2月 シンポジウム

こども動物自然公園について

埼玉県の中東部にある比企丘陵に位置し、動物とのふれあいや自然観察を楽しむことができる公園として昭和55年5月5日にオープン。コアラやカンガルー、「世界一しあわせな動物」クオッカなどオーストラリアの動物がいる東園のほか、フンボルトペンギン生態園「ペンギンヒルズ」や国内初のガラス張り屋内キリン展示室「キリンテラス」、こどもの城などの施設がある。ハイシーズン(GW/SW)における駐車場の混雑と周辺道路の渋滞、多種多様な主体との連携による魅力あるコンテンツづくりと情報発信が課題となっている。



○ 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<事務局>

埼玉県 環境部 みどり自然課

<設置目的>

○プラットフォームづくり

- ・ 里山や平地林をフィールドに、地域の様々な関係者がつながりを持ち、新たな価値を創出するための基盤をつくる。

○取組の実践

- ・ 里山や平地林の持つポテンシャルを有効に活用し、健康や観光、教育等の分野と連携して様々なサービスを提供するなど、ビジネスの視点も取り入れた持続可能な保全・活用を進める。

<これまでの取組状況>

○里山や平地林の保全・活用（意見・アイデア）

- ・ 自然環境保全と観光を組み合わせた「森林ワーキングホリデー」
- ・ ナラ枯れ被害の実態把握、平地林資源の有効活用策の検討（飯能市天覧山）



○ 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<今後解決したい課題や実施したい内容>

○課題

- ・ 保全や管理の担い手不足。関係者間をつなぐ情報共有や連携が不十分。
- ・ 緑の管理や活動に「楽しさ」を共有できるような取組・アイデアが不足。

○実施内容

- ・ リアリティのある議論、フィールド調査等を行う場や機会の創出
- ・ 地域ニーズを踏まえたアイデアをモデル的に実施

<連携していきたい業種>

地域の振興や課題解決に関心のある企業・団体(サービス業、教育、福祉・医療、団体・NPO、市町村 等)

<実施イメージ>



○ プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

<事務局>

埼玉県 環境部 資源循環推進課

<設置目的>

プラスチック廃棄物の排出抑制と
プラスチック資源の循環利用促進

<令和4年度の主な取組>

①市町村の分別収集支援（分別・回収方法の検証）

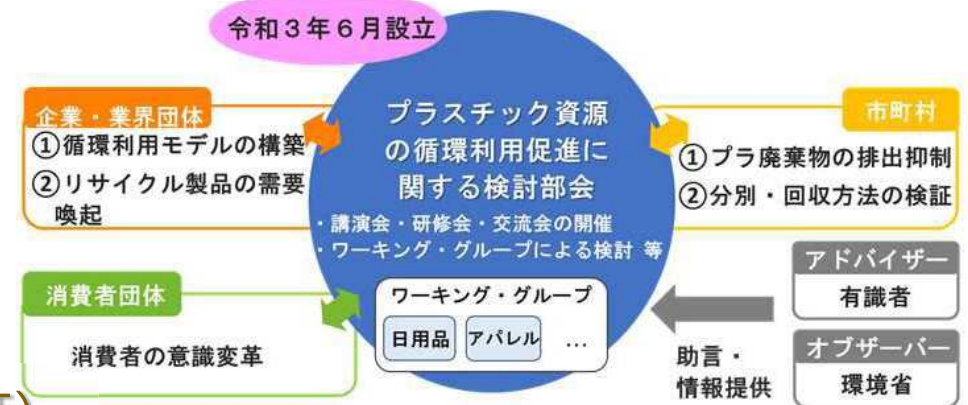
県内市町の協力のもと、家庭ごみの現況調査や効率的な回収方法の検証を実施

②消費者への意識啓発

小売業者、リサイクル業者、製造業者等が連携し、衣類とプラスチックの回収
キャンペーンを実施

③事業者による連携の取組支援

小売業者、リサイクル業者、システム業者等が連携し、「プラスチック資源循環の
見える化」を実施



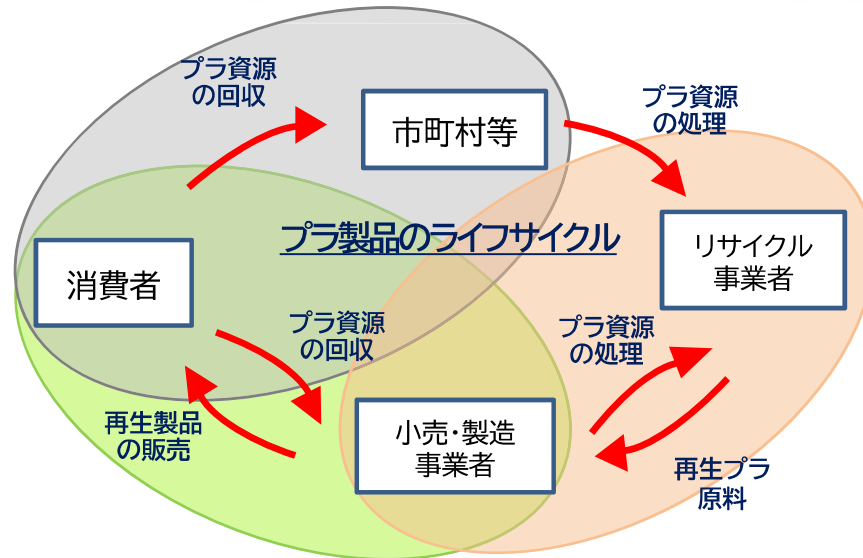
○ プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

<令和5年度に実施したいこと>

- 会員のマッチング等により、資源の効率的・循環的な利用を図り環境への取組を企業の収益につなげていく「サーキュラーエコノミー」を推進
- 会員と連携し、廃棄物の排出抑制及び資源の循環利用への機運醸成
- 家庭から出る製品プラスチックごみについて、地域や収集状況の異なる複数の市町村で拠点収集を実施し、回収モデルを発信

<連携していきたい企業・団体等>

小売・製造事業者、リサイクル事業者、市町村 等



○ 孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくり検討部会

<事務局>

埼玉県 福祉部 福祉政策課

<設置目的>

社会全体で孤独・孤立を予防する地域をつくるために、
孤独・孤立の状態にある若者の居場所づくりに企業・団体等が果たせる
役割、連携のあり方を整理することを目的とする



<今後解決したい課題や実施したい内容>

- 国や県の調査において、孤独を感じる割合が高かった20代を中心とする若い世代が、身近な地域において人と繋がることのできる居場所づくり
- 様々な分野の既存の活動に孤独・孤立対策の横串を通すことでの効果、課題についての意見交換会を開催

<特に連携していきたい業種>

団体・NPO等、教育、学習支援 等





埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて

プラットフォームの構成

県、市町村
孤独・孤立対策と予防に向け、包括的に取り組む。



NPO、社協、社会福祉法人等
団体同士がつながり、既存の活動に「孤独・孤立」の横串を通し、取組みの裾野を広げるきっかけに。

民間企業等
事業を通じ活動場所や就労支援、資金支援等への協力などを行う。

プラットフォームの目的

- 連携の基盤
- ・分野、種別、地域などを超え、団体が広くつながる
 - ・既存の活動や事業に「孤独・孤立」の横串を通し、取組みの裾野を拡大
 - ・対等な立場でフラットに連携 など

- 情報の発信
- ・「困ったときに支援を求めるのは良いこと」を社会に発信し、声を上げやすい社会づくりを目指す
 - ・会員の活動や居場所などの情報を発信し、当事者の支援につなげる など

- 会員の活動を支援
- ・研修や地域別ワークショップの開催
 - ・先進的取組、好事例の共有
 - ・各種支援、助成等の情報提供 など

II 結果の概要

■ 孤独の把握方法・状況

孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、この調査では2種類の設問を採用。

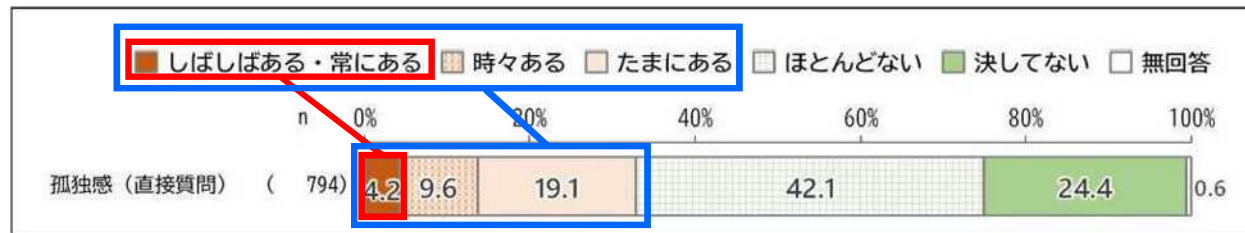
①直接質問

- 直接的に孤独感を質問。直接質問の結果、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は4.2%、「時々ある」が9.6%、「たまにある」が19.1%であった。一方で孤独感が「ほとんどない」と回答した人は42.1%、「決してない」が24.4%であった。

あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1 決してない | 4 時々ある |
| 2 ほとんどない | 5 しばしばある・常にある |
| 3 たまにある | |

埼玉県



国※
(令和3年調査)



※以後、国の図表は、「人々のつながりに関する基礎調査（令和3年）内閣官房孤独・孤立対策担当室」の結果であることを表す。

II 結果の概要

■ 年齢階級別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人について年齢階級別の割合は「20歳代」が最も高く9.5%であった。一方、最も低いのは「10歳代」、「80歳以上」で0.0%であった。

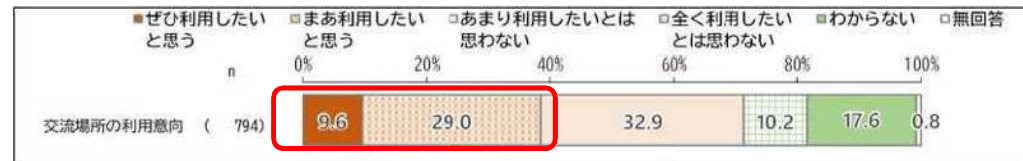


II 結果の概要

■ 寂しい際の地域の交流場所の利用意向

- 交流場所の利用意向について、全体で「ぜひ利用したいと思う」、「まあ利用したいと思う」を合わせた「**利用したい**」人は**38.6%**であった。

埼玉県



○フードロス削減分科会

<事務局>

味の素株式会社

<設置目的>

埼玉県内の企業・団体と共に「食の有効活用」を推進することで、
フードロスの削減を目指すこと

<これまでの取組状況（22年度）>

①フードロス削減に関するイベント開催（認知拡大）

行政、各分科会メンバーが連携し、県内各イオンモール様のサイネージにて
フードロス削減の啓発動画を公開

②教育分野における広報活動（小学生への意識啓発）

学研スタディエ様にて、埼玉県内のSDGsに取り組む企業の活動紹介
ハートソング様と連携し、SDGs活動の内容についてクイズ形式でのオンラインイベント
の実施

1 貧困をなくそう



3 すべての人に健康と福祉を



5 ジェンダー平等を実現しよう



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



2 飢餓をゼロに



4 質の高い教育をみんなに



6 安全な水とトイレを世界中に



8 働きがいも経済成長も



17 パートナーシップで目標を達成しよう



埼玉県からのお知らせ

10 人や国の不平等をなくそう



15 陸の豊かさも守ろう



2023. 5. 19

埼玉県企画財政部計画調整課
総括・SDGs推進担当

12 つくる責任つかう責任



16 平和と公正をすべての人に



14 海の豊かさを守ろう



13 気候変動に具体的な対策を

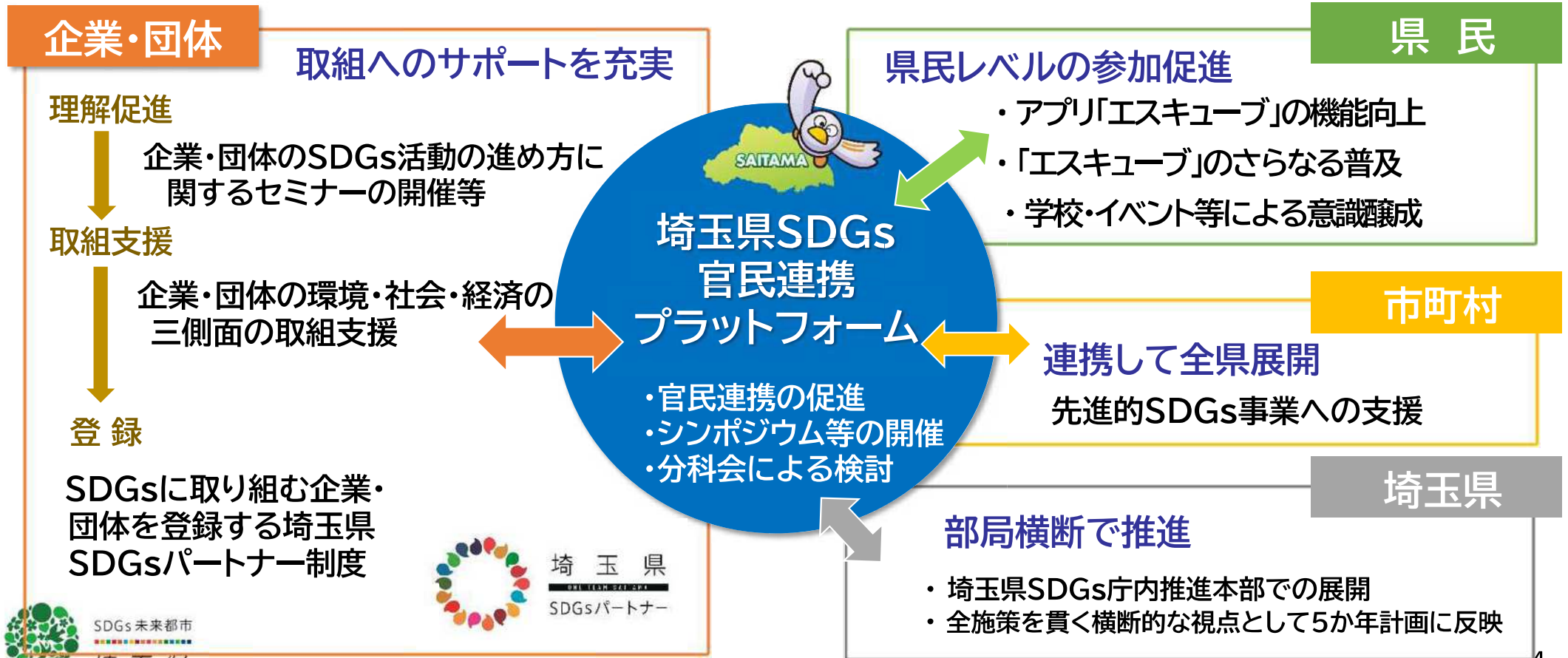


11 住み続けられるまちづくりを



埼玉版SDGsの推進

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じ、ワンチーム埼玉でSDGsを推進



埼玉版SDGsの推進

● 「企業・団体・市町村」 向け施策

埼玉県SDGs 官民連携プラットフォーム

- ・シンポジウム等による普及・啓発
- ・SDGs達成に向けた施策の検討

会員数 **1,327** 者(R5. 4.30現在)

埼玉県SDGs パートナー登録制度

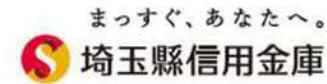
- ・SDGsに自ら取り組む県内企業・団体を登録

登録者数 **1,167** 者(R5. 3. 31現在)

- ・パートナー制度と連携した金利優遇商品を用意



埼玉県
ONE TEAM SAITAMA
SDGsパートナー



「埼玉県SDGsパートナー」登録制度

登録企業・団体等のメリット

- パートナー登録証（図.1）の付与
- 専用のロゴマーク（図.2）を使用可能



図.1 パートナー登録証



図.2 パートナーロゴ(タテ、ヨコ)

- 県ホームページ等でSDGsの取組をPR
- 大野知事からの激励動画（図.3）を送付

- 県制度融資における優遇
- 埼玉版SDGs推進アプリ『S³』にイベント情報やPR動画を掲載可能（図.3）



図.3 大野知事の激励動画

図.3 『S³』でのPR

埼玉版SDGs推進アプリ『エスキューブ』

● 「県民」向け施策

埼玉版SDGs推進アプリ



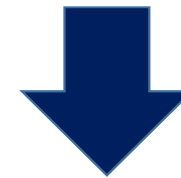
R5.3 リニューアル(機能拡充)を実施

- ①「食べきりレシピ」の追加 ⇒ 食品ロス削減につながる料理レシピを配信
- ②動画再生方法の変更 ⇒ YouTubeを利用せず動画閲覧が可能
- ③「SDGsクイズ」解説の追加 ⇒ 知識を深めるために解答時に解説を表示

ポイント付与メニュー



ダウンロード数 3,380DL(R4.3.31現在)



7,889DL(R5.4.30現在)



【参考】県内プロスポーツチームとの連携

●浦和レッズとの連携事業（令和5年3月～）




エスキューブ
埼玉版SDGs推進アプリ『S3』

エスキューブ
SDGs Saitama Style

「最近よく耳にするけれど、そもそもSDGsってなに？」
その疑問を動画や文章・クイズで楽しく理解できる
埼玉県公式スマートフォンアプリです。

～リニューアル記念キャンペーン～
SDGs関連賞品 プレゼント!

バンブーファイバー箸
浦和レッズオリジナルキャップ付きマイ箸
埼玉県SDGs
ロゴ入りエコバッグ

それぞれ
抽選で
200
名様

応募期間
3/17(土)～4/30(日)

応募対象
埼玉県内各・各都道府県・各自治体

応募方法
① 各都道府県の公式サイトにて応募
② 各都道府県の公式アプリにて応募
③ 各都道府県の公式ウェブサイトにて応募
④ 各都道府県の公式SNSにて応募
⑤ 各都道府県の公式ウェブサイトにて応募

お問い合わせ
048-833-5599

エスキューブリニューアルキャンペーン



大型ビジョンでの放映

埼玉スタジアム2002
でのプロモーション

